

20/8 期は 5G 向け半導体製造装置向けなどが伸長し 22.2%増収 84.5%増利増予想

株価 (4/17) 1706 円 時価総額 146 億円 (4/17) 発行済株 8,586 千株 (4/17)
 PER (DO20/8 期予: 19X) PBR (2.55X) 配当 8 円 配当利回り 0.47%

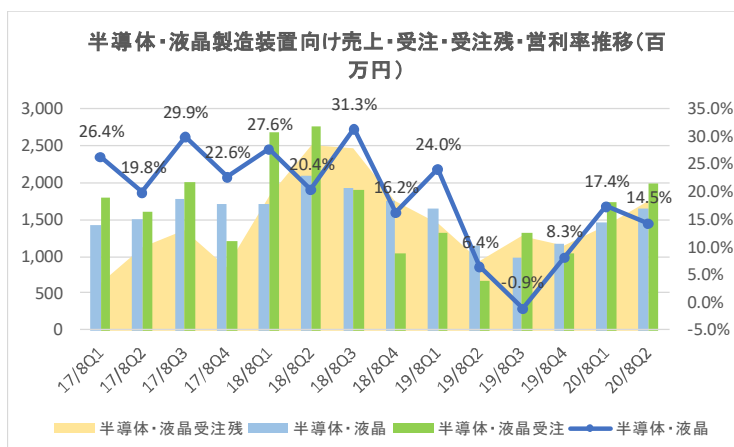
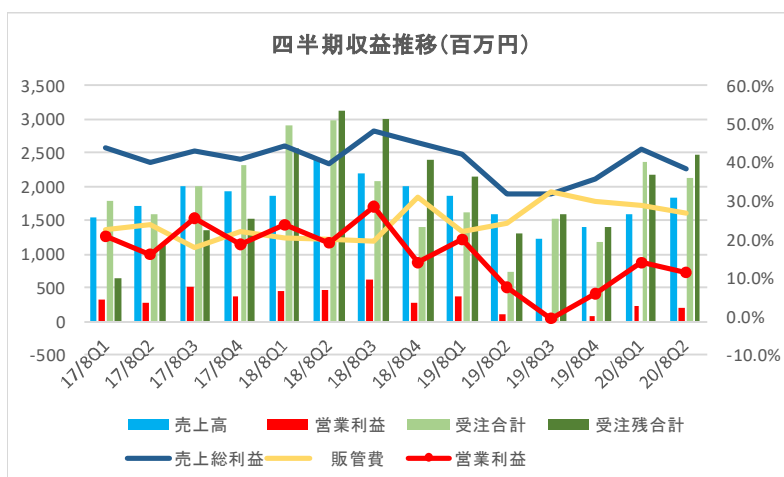
要約

- 20/8Q2 は 16.1%増収、77.3%増利増と受注急回復受け大幅収益回復
- 20/8 期は Q1 修正予想を変更せず 22.2%増収 84.5%増利増予想
- 21/8 期は 5G、IoT 拡大、コロナでノート PC 増も寄与し収益上伸、22/8 期は最高益更新へ
- 株価は 21/8 期 ARJ 予想 EPS140 円に対し、電気機器平均 PER16.9 倍の 2360 円目標

20/8Q2 は 16.1%増収、77.3%増利増と受注急回復受け大幅収益回復

20/8Q2 は売上高 18.41 億円 (16.1%増)、営業利益 2.11 億円 (77.3%増)、経常利益 2.17 億円 (528.4%増)、税引利益 1.67 億円 (89.8%増)、受注高 21.40 億円 (2.9 倍増) と、5G 向け半導体製造装置向けなどの受注急増で収益が急回復した。

セグメント別では半導体・液晶関連事業が売上高 16.50 億円(前年同期比 43.0%増、営業利益 2.39 億円 (同 3.2 倍)、受注高 19.88 億円 (同 3.0 倍)、受注残高 17.58 億円(同 86.8%増) と、5G 向け半導体製造装置を中心に受注急回復で収益も上伸した。一方、IDX 関連は売上高 1.91 億円 (55.9%減)、営業損失 0.29 億円 (0.74 億円悪化) も、受注高は 1.51 億円 (88.8%増)、受注残高 7.23 億円



(95.9%増)と、研究機関向けの長期低調も、Q1に重粒子線治療装置向け受注を獲得し受注が拡大している。なお20/8上期では売上高34.37億円(0.2%減)、営利4.37億円(10.7%減)、受注高45.17億円(91.6%増)となっており、19/8Q4をボトムに収益が急回復、Q1発表時の上期予想の売上高33億円(期初計画比2億円増額、10.0%減)、営利4.8億円(同2億円増額、2.0%減)に対してはほぼ修正計画通りの着地となった。

20/8期はQ1修正予想を変更せず22.2%増収84.5%営利増予想

上期が修正予想並みに推移したこと、受注残高が24.81億円(89.3%増)あることから、会社側は20/8期会社修正予想を変更せず、売上高74億円(22.2%増)、営業利益10.5億円(84.5%増)、経常利益11.0億円(2.1倍増)、税引利益7.7億円(2.2倍増)予想とした。

半導体・液晶関連事業はロジック向け需要がTSMCやIntelの設備増強などが本格化し全体の50%程度がロジック製造装置向けになる見通し。光学薄膜向けも慎重な見通しも、5G対応でカメラレンズ複眼化加速など主力ユーザーのオプトランも受注が拡大している模様。IDXは大学・研究所向けが依然低迷も、重粒子線治療用電源に加え、直流バイポーラ電源などスマホ、半導体製造向けなどの新規売上計上も若干寄与しよう。

営業利益は大半を半導体・液晶関連事業で稼ぎ出しており、大幅増収に加え総利益率も改善し、大幅増益に。現状、TSMCがQ1好調、Q2はコロナウイルス影響を受けるも売上横ばい見通しを表明しており、影響は軽微と見られる。下期は昨年11月に完成したベトナム工場の本格生産開始により受注残高消化も対応が進み、増収効果による稼働率アップ、IDXも民需の新製品寄与で、工場がベトナムで正常に稼働しており、主力ユーザーが台湾や生産回復過程にある中国であるだけに、コロナ影響があっても会社予想並みを達成できよう。

21/8期は5G、IoT拡大、コロナでノートPC増も寄与し収益上伸、22/8期は最高益更新へ

21/8期はロジック向けに加え、メモリ向でも半導体製造装置向けプラズマ電源の回復が期待される。加えて5G端末の本格拡大や監視カメラ、自動運転向けの光学センサデバイスの拡大からソニーやサムスンがCMOSイメージセンサデバイスの大型投資を実行、5G対応でガラス筐体向けに光学薄膜製造装置向けもピーク受注を超える期待がある。加えて今回のコロナウイルス騒動で世界的にリモートワーク、遠隔教育など、改めてノートPCなどの需要も盛り上がる可能性が出ており、ベトナム工場の生産能力アップで収益上伸が見込める。

またIDXは高電圧直流電源装置がタッチパネル向け製造装置向けに受注拡大が期待でき

ベトナム新工場 延床面積約5800㎡の建屋



る。さらにプラズマ医療機器のステリプラスが欧州で2021年中にも保険適用の可能性があり、新たな柱として拡大が期待される。

このような環境から、21/8期も収益上伸が見込まれ、22/8期には過去最高益更新が期待される。

株価は21/8期ARJ予想EPS140円に対し、電気機器平均PER16.9倍の2360円目標

株価は1/10のQ1決算発表時の20/8期増額修正を受け、1/24には年初来高値2030円を付けたものの、その後全体相場の下落などもあり、3/13には1053円の安値を付け、4/10の上期決算で会社想定並みに進捗している事を確認され、現在は株価上昇過程にある。今後、3月決算ハイテク企業の決算発表が相次ぎ、21/3期収益予想の厳しさから業界としてコロナウイルスによる影響で株価が重たい展開が懸念される。但しコロナウイルスの同社収益への影響は軽微とみられ、先端半導体生産設備増強から収益拡大が見込まれ、21/8期DO予想EPS140円に対し電気機器平均PER16.9倍に当たる2360円を目標に、押し目買いで対処したい。

アドテックプラズマテクノロジー(6668)	(百万円、円)									
	売上高	増減率	営業利益	増減率	経常利益	増減率	税引利益	増減率	EPS	配当
19/8Q1	1,858	-0.7%	370	-16.9%	367	-20.9%	274	-10.4%	31.9	0.00
19/8Q2	1,586	-34.3%	200	-57.1%	137	-70.8%	87	-75.1%	10.2	4.00
19/8Q3	1,219	-44.4%	-4	赤転	-41	赤転	-74	赤転	-8.6	0.00
19/8Q4	1,393	-31.0%	83	-70.9%	52	-82.5%	64	-71.4%	7.5	4.00
19/8H1	3,444	-19.6%	490	-46.3%	504	-45.9%	361	-44.9%	42.1	0.00
19/8H2	2,611	-38.0%	79	-91.4%	11	-98.8%	-9	赤転	-1.1	4.00
19/8期	6,055	-28.8%	569	-68.8%	515	-72.1%	352	-72.9%	41.0	8.00
20/8Q1	1,595	-14.1%	227	-38.7%	286	-21.9%	201	-26.4%	23.5	0.00
20/8Q2会予(1/10)	1,705	7.5%	253	26.5%	244	78.1%	169	94.3%	19.6	4.00
20/8Q2	1,842	16.1%	210	5.0%	218	59.1%	167	92.0%	19.4	4.00
20/8H1期初会予	3,100	-10.0%	280	-42.9%	280	-44.5%	180	-50.2%	21.0	4.00
20/8H1修正会予(1/10)	3,300	-4.2%	480	-2.0%	530	5.2%	370	2.5%	43.1	4.00
20/8H1	3,437	-0.2%	437	-10.7%	504	0.0%	368	2.0%	43.0	4.00
20/8H2期初会予	3,900	49.4%	430	444.3%	430	3809.1%	310	黒転	36.1	4.00
20/8H2修正会予(1/10)	4,100	57.0%	570	621.5%	570	5081.8%	400	黒転	46.6	4.00
20/8H2修正会予(4/10)	3,963	51.8%	480	507.6%	530	4718.2%	370	黒転	46.7	4.00
20/8期初会予	7,000	15.6%	710	24.7%	710	37.8%	490	39.2%	57.1	8.00
20/8期修正会予(1/10)	7,400	22.2%	1,050	84.5%	1,100	113.8%	770	118.8%	89.7	8.00
20/8期DO予	7,400	22.2%	1,050	84.5%	1,100	113.6%	770	118.8%	89.7	8.00
21/8期修正DO予(1/13)	10,300	39.2%	1,700	61.9%	1,750	59.1%	1,200	55.8%	139.8	14.00
22/8期修正DO予(1/13)	12,200	18.4%	2,300	35.3%	2,350	34.3%	1,600	33.3%	186.4	18.00

年度	17/8期	18/8期	19/8期	20/8期期 初会予	20/8修正 会予 (1/10)	20/8期 DO予	21/8期 DO予	22/8期 DO予
売上高	7,219	8,499	6,056	7,000	7,400	7,400	10,300	12,200
営業利益	1,486	1,827	569	710	1,050	1,050	1,700	2,300
経常利益	1,512	1,845	515	710	1,100	1,100	1,750	2,350
親株主帰属純利益	1,136	1,300	352	490	770	770	1,200	1,600
セグメント売上情報年度	17/8期	18/8期	19/8期	20/8期期 初会予	20/8修正 会予 (1/10)	20/8期 DO予	21/8期修 正DO予	22/8期修 正DO予
半導体・液晶	6,390	7,483	4,960	5,800		6,100	8,300	9,800
研究機関・大学向	828	1,017	1,096	1,200		1,300	2,000	2,400
合計	7,219	8,500	6,056	7,000	7,400	7,400	10,300	12,200
セグメント営業利益	17/8期	18/8期	19/8期	20/8期期 初会予	20/8修正 会予 (1/10)	20/8期 DO予	21/8期修 正DO予	22/8期修 正DO予
半導体・液晶	1,586	1,786	557			1,050	1,650	2,050
研究機関・大学向	-100	43	6			0	100	250
営業利益	1,486	1,827	569	710	1,050	1,050	1,750	2,300
セグメント受注	17/8期	18/8期	19/8期	20/8期期 初会予	20/8修正 会予 (1/10)	20/8期 DO予	21/8期修 正DO予	22/8期修 正DO予
半導体・液晶	6,605	8,401	4,338			8,000	8,500	9,900
研究機関・大学向	1,132	983	718			1,600	2,200	2,500
受注合計	7,737	9,384	5,056			9,600	10,700	12,400
セグメント受注残	17/8期	18/8期	19/8期	20/8期期 初会予	20/8修正 会予 (1/10)	20/8期 DO予	21/8期修 正DO予	22/8期修 正DO予
半導体・液晶	844	1,762	1,140			3,040	3,240	3,340
研究機関・大学向	671	637	259			559	759	859
受注残合計	1,515	2,402	1,399			3,599	3,999	4,199
年度	17/8期	18/8期	19/8期	20/8期期 初会予	20/8修正 会予 (1/10)	20/8期 DO予	21/8期修 正DO予	22/8期修 正DO予
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
売上原価	57.9%	55.8%	64.0%	65.6%		62.7%	62.1%	60.7%
売上総利益	42.1%	44.2%	36.0%	34.1%		37.3%	37.9%	39.3%
販管費	21.5%	22.7%	26.6%	24.0%		23.1%	21.4%	20.5%
営業利益	20.6%	21.5%	9.4%	10.1%	14.2%	14.2%	16.5%	18.9%
経常利益	20.9%	21.7%	8.5%	10.1%	14.9%	14.9%	17.0%	19.3%
親株主帰属純利益	15.7%	15.3%	5.8%	7.0%	10.4%	10.4%	11.7%	13.1%
セグメント営業利益率	17/8期	18/8期	19/8期	20/8期期 初会予	20/8修正 会予 (1/10)	20/8期 DO予	21/8期修 正DO予	22/8期修 正DO予
半導体・液晶	24.8%	23.9%	11.2%			17.2%	19.9%	20.9%
研究機関・大学向	-12.1%	4.2%	0.5%			0.0%	5.0%	10.4%
営業利益	20.6%	21.5%	9.4%	10.1%	14.2%	14.2%	17.0%	18.9%

